



▲多久消防署の最新救急車

▶広くなった車内。ベッドの隣にある画面がタッチパネル式多機能型心電図です



さらなる救命率アップが期待されます！

最新型の高規格救急車を更新配備

多久消防署には、2台の救急車を配備しています。そのうち1台を、2月25日に最新の医療資器材を積載した高規格救急車へ更新。26日から運用を開始しました。

高規格救急車とは、救急事故現場や搬送途中の車内で、重症の傷病者に高度な救急救命処置ができる救急車です。

佐賀大学病院などでも使用されているタッチパネル式の多機能型心電図や、充電時間が短くなった半自動除細動器などを積載しています。また、以前と比べて処置する空間が広く、急変した傷病者にも素早く対応できるようになり、さらなる救命率アップが期待されます。

最優秀賞に陣内さん、西山さん

佐賀県銘柄みかんコンクール

平成23年度佐賀県銘柄みかんコンクール表彰式が、2月29日小城市のドゥイング三日月であり、「極早生うんしゅうみかん」の部で陣内優さん（東多久町）、「普通うんしゅうみかん」の部で西山秀利さん（南多久町）が最優秀賞を受賞されました。

陣内さんのみかんは糖度13.2度、酸含量0.78%と極めて品質が優れ、「これからも糖度が高く、品質の良いみかんを頑張って作っていきたい」と喜びを語られました。西山さんのみかんは、糖度14.9度、酸含量平均0.88%と品質が優れ、外観や玉揃いも良好で「30年専業で取り組んできた愛着のあるみかんです。先祖から受け継いできたみかんを、次世代へバトンタッチするために頑張っていきたい」と話されました。

また、「普通うんしゅうみかん」の部の優等賞に上瀧安弘さん（東多久町）、深川清純さん（南多久町）、円城寺昭貴さん（東多久町）が入賞されました。



◀「すばらしい賞をいただいて」と受賞を喜ぶ陣内優さん（左）と西山秀利さん

数々の貴重な出土品から 多久の歴史を学ぶ

市役所市民ホールにて、多久城下町と梶峰城をテーマにした発掘ミニ企画展「多久物語を掘る」が行われました。

市民ホールでの展示は初めての試みで、中世から近世までの多久の歴史を綴った紙芝居『多久物語』に沿って、梶峰城跡の発掘工程やその出土品、龍蔵寺長信の肖像画、本多久郭内遺跡の出土品など発掘資料や出土品など多数展示され、来場者は熱心に鑑賞していました。



3/13 ~ 3/23

大震災復興支援 チャリティーマラソン

2月の県内一周駅伝大会に出場した多久市チームのメンバーが、東日本大震災復興支援のチャリティーマラソンを行い、唐津市役所からゴールの佐賀新聞社までの76.5キロで募金を呼びかけました。

船津監督は「復興に協力したいと行いました。県内一周駅伝も、来年は一桁台を目指し、みなさんの期待に応えたい」と話しました。集まった募金はNPO法人被災障害者支援「ゆめ風」を通して、被災地に送られます。



3/11